



釧路森林資源活用円卓会議 プレスリリース 令和3年12月6日

<事務局> 釧路市産業振興部農林課  
085-0805  
釧路市黒金町7丁目5  
<http://www.city.kushiro.lg.jp/sangyou/nourin/ringyou/tiiki/cat00000886.html>

## くしろ「木づな」プロジェクト

### 地域材（カラマツ）を活用した木造牛舎（育成舎）の見学会を開催

#### 【概要】

くしろ木づなプロジェクトでは、地元産木材の利用推進や、森林資源の循環利用の普及啓発を目的として、今年度、地域材を活用して建設中の釧路市新野牧場の木造牛舎（育成舎）の見学会を開催しました。

- 日時 令和3年12月2日（木）10:00～11:00
- 場所 釧路市新野牧場（釧路市鶴丘5-1）
- 建築面積 980.019 m<sup>2</sup>
- 主な構造 木造 カラマツ構造用集成材 22.1 m<sup>3</sup>ほか使用

#### 【実施内容】

今年度「道営草地畜産基盤整備事業 草地整備型（公共牧場整備事業）」により釧路市新野牧場に建設中の、地域材を活用した木造牛舎（育成舎）の見学を、釧路森林資源活用円卓会議と釧路総合振興局の合同で開催いたしました。

当日は、円卓会議川下部会構成員（設計事務所・製材工場・高専・JA）のほか、建築士事務所協会、施工業者及び協力業者、釧路総合振興局など総勢38名が参加しました。内容としては、木造での建設の経緯、構造の設計内容、地域材（カラマツ）を活用した木造牛舎の事例紹介の説明があり、その後時間内で自由見学という形で行いました。

木造部分の主要構造に地域材のカラマツ（主に釧路市阿寒産）が使用されており、当地域は酪農業が盛んな地域であることから、このような木造牛舎（育成舎）が、今後の新築や建て替え需要において広まりを見せることが期待されています。

また、当見学会は北海道のゼロカーボンの取組推進の一環としても位置づけられており、今回の牛舎では、木材を使用することにより推計で約89.8tものCO<sub>2</sub>が固定されたこととなります。

くしろ木づなプロジェクトでは、今後も建築物等への木材利用を推進するとともに、CO<sub>2</sub>の固定になどによる脱炭素社会の実現に向けた取組を推進してまいりたいと考えております。



#### <釧路森林資源活用円卓会議>

釧路市は、2005年（平成17年）の3市町合併により、森林面積は約10万ha（全道の市で1位）。まさに釧路市は「森林都市」。「釧路市有林をはじめとした釧路市内の森林資源の活用策を検討」するため、釧路の木を取り巻く様々な関係者が参画する「釧路森林資源活用円卓会議」を2010年（平成22年）11月設置しました。これまで、地域材利用拡大にあたり、その課題解決のため「くしろ木づなプロジェクト」を実施しています。

釧路市産業振興部農林課

（担当）神成 大輔

TEL：0154-31-2552

FAX：0154-31-2553